

平成14年度 再評価実施事業（国庫補助事業）調査

		事業所管部局	国土交通省関東地方整備局地域道路課
計画事業名	一般国道409号道路改良（二子工区）	事業担当局	建設局
事業採択年度	平成5年度	認可・承認等年度	平成5年度
経過年数	10年	該当条項	事業採択後10年間を経過
完了予定年度	平成19年度	関連事業名	
事業の目的 概要 課題	事業の目的 多核ネットワーク型の都市構造を支える都市軸交通幹線網の整備とともに、環境に配慮した質の高い生活空間を形成する。	事業採択時の背景及び契機 本路線は、国道246号との交差点を起点とし、本市の都心又は副都心として位置付けられる溝口駅、小杉駅、新川崎・鹿島田駅及び川崎駅周辺地区を結び、重要港湾川崎港へと至る主要幹線道路であり、本市の道路交通体系の骨格をなす交通軸となっている。また、周辺には、警察署、消防署、病院など公的施設が立地しており、市民生活を支える交通基盤として、早急に整備する必要があった。	
	事業内容 箇所 高津区二子地内 道路延長 L = 約740m 幅員 W = 20m 国道延長 L = 約12,500m（市・管理区間） 現況幅員 W = 9m	事業採択（着工、未着工）から基準年を経過している主な理由 本事業区間は、店舗、工場、住宅などが連たんしていることから、関係権利者の権利関係が輻輳しており、用地取得後の生活再建にも及び用地交渉に難航したため日時を要した。	
	事業費規模（単位：百万円） 総事業費 約 6,830（うち 国庫支出金 2,650） 執行金額 約 4,775（H13年度末） 残事業費 約 2,055	現状の課題 用地取得率75%（平成14年3月） 事業用地取得にあたり、関係権利者の協力を得るのに時間を要したが、未取得用地の関係権利者を取り巻く状況も刻々と変化しており、事業の重要性をご理解いただきながら、引続き用地交渉を進めていく。	

評価の概要	本路線は交通量が多く、朝夕の通勤時には、慢性的な渋滞を繰り返しており、円滑な交通処理が必要となっている。また、歩道幅員も十分になく、バス停に待機するバス利用者も含めた歩行者の安全確保も求められている。さらに、地域防災計画において緊急輸送道路に指定されていることもあり、当該事業の早期完成が必要と考える。
-------	---

再評価への考え方	本路線は、本市のラダ型の交通体系を形成する縦断方向の都市軸幹線道路であり、「川崎新時代2010プラン」に位置付けられている主要幹線道路であるとともに、本市の主要都市拠点を結ぶ骨格をなす路線となっている。 本路線の交通渋滞は、さらに悪化し、円滑な交通の流れと歩行者の安全性を確保するため、早期整備が求められている。さらに、緊急輸送道路に指定されており、防災対策の観点からも整備が必要となっている。 また、事業用地の3/4は取得済みであり、事業効果発現のためにも、早期整備を目指し事業を継続することが必要であると考えられる。
----------	--

対応方針	対応方針案 継続・中止・休止 対応方針案の考え方 ・本路線は、本市の交通体系を構成する重要路線となっていることから、道路ネットワークの形成上、不可欠である。 ・歩行者の安全確保を実現する。 ・人又は物流の弊害となる交通渋滞については、解消に向けた取り組みを実施する。 ・道路環境の改善及び防災機能の強化を図る。 ・取得済みの用地が全体の3/4を占める中で、事業効果の発現に努める。 以上のことから、事業を継続し、早期に完成を図ることが必要であると判断できる。 なお、事業継続の際には、住民ニーズを十分に把握するとともに、事業に対する理解を得られるよう一層努力する。
------	---